

磐城時報

日刊 三月十日

編輯部 石城郡平町細屋町十四
 印刷部 石城郡平町細屋町十四
 發行部 石城郡平町細屋町十四
 電話 石城郡平町細屋町十四
 廣告料 一月十元、三月二十五元、半年五十元、一年九十元、長期優待
 代印部 石城郡平町細屋町十四
 印刷部 石城郡平町細屋町十四
 發行部 石城郡平町細屋町十四
 電話 石城郡平町細屋町十四

▲日刊(日曜日休刊)

地方空前の盛葬

比佐代議士母堂の葬儀

會葬者實に三千名

石城郡湯本町代議比佐昌平氏、松田各大臣の外全國から名
 母堂の葬儀は二十九日午後二時、花輪十個並に飾られ、湯
 本町自宅で営まれたが、既報葬者約三千名、地方空前の盛儀
 の如く、濱口首相以下安達、井上であつた。
 宇垣、江木、町田、田中、小泉

野崎満藏氏の香奠が

突き返された話

之亦地方空前の事

代議士比佐昌平氏の盛葬は、別記の如くであるが、當日縣會議員野崎満藏氏は、湯本町に赴いた處、野崎氏の姿を見た湯本町町長高橋、渡邊長作の兩氏は、野崎氏を山形屋に招ぎ、焼香しない方がよからうと注意する處があつたが、野崎氏は比佐氏宅に至り、靈前に焼香した上、香奠を供へて辭去した。然るに右香奠は平町長高橋高子長藏氏の手を経て野崎氏に返戻方を依頼され、之を知つた柳下元吉氏が再び野崎氏の香奠を持ち湯本町に至つたが同様返戻され、目下香奠は中ぶらんの態であるといふ。右について野崎満藏氏は語る。

渡邊長作の兩氏から私に對し顔を出さぬやうにとの話があつたが、それは比佐代議士の意志ではあるまいと思つて、焼香したわけである。私の香奠が返戻された由であるが、これも比佐代議士の意志が如何か判らぬ。比佐代議士の意志であるとするれば、比佐氏自身とその友人が、若くは比佐氏自身の手で、その時は私も返戻を受けやう、然し高子某によつて返してよすとは、禮を欠けた行爲であるし、理に合はぬ點があるので受取らぬわけである。

入學者氏名

平商業學校昭和六年度入學許可者は二十九日發表されたが、氏名を左の如し(成績順)

- 根本輝雄 長谷川清 根本健
- 男 内海實 金成英保 阿部
- 惣太郎 伴正一 佐藤良吉
- 小野崎義巳 渡邊功 岡田彦
- 太郎 豊田松之助 高田勇
- 伊東傳一郎 久保木武雄 赤
- 津七郎 鈴木敬三 廣木茂
- 深谷敬徳 長瀬梅雄 矢野泰
- 關謙蔵 森林一 永久保繁光
- 草野菊次 永山喜一 渡邊正
- 平 小川忠良 酒井弘道 鈴
- 木光 荒川昇 木田貴一郎
- 岡部孝平 猪狩和雄 久野秀
- 三郎 牛久諸太郎 梅原三郎
- 竹田秀太郎 岩佐正治 木村
- 府衛 千葉正雄 邊渡良一
- 府衛清 永山仁一 大高正巳
- 勝倉武男 白井敏一 遠藤實
- 荒川豊一 青木賢太郎 白土
- 松美 千葉忠雄 本田幸一
- 草野菊雄 渡邊幸吉 猪狩堯
- 春 佐々木隆男 齋藤一夫
- 本間充 藪部喜徳 新妻一
- 長瀬十郎 小松喜一 阿部敬
- 渡邊勝美 大方敬雄 金成誠
- 一 高木隆 武子功 高林
- 隆太郎 四家春喜 菅野正
- 阿久津勳 小野清正 鈴木道
- 弘 中村鼎 鈴木次良 先崎
- 利雄 合田博嗣 中島新之助
- 大和田信明 小林政男 青木
- 安雄 後藤新平 西川貞夫
- 神谷忠男 勝沼直直 森下良
- 雄 木村久壽 大森玉彦 船
- 生健吉 國井勝英 長谷川喜
- 久 荒義男 西脇幸一 小野
- 武平 齋藤啓一 若松一郎
- 佐藤昌一 會川清美 船生忠
- 秀明 志賀秀雄 根本良義 中野
- 宇佐見重一 鈴木萬次郎 鈴
- 木克治 島海蔵

花の四月十日に

恒例忠魂祭

石城郡聯合在郷軍人分會並に町
 村長會聯合の忠魂慰靈祭は恒例
 により四月十日を以て花の平町
 松ヶ岡公園忠魂慰霊壇に執行
 するべく目下準備中である。當日
 は郡下の遺族外傷病家族をも招
 ぎ厚く弔慰の意を表する筈で、
 帝國在郷軍人會代理を始める若
 松聯隊區司令官、知事代理其他
 地方名士數十名列席すべく平町
 各學校の参拜もある、種々の余
 興を添へる筈で盛儀を豫想され
 てゐる。

米穀役員決定

町米穀商組合の總會は二十九日
 午後六時より同町旭館に開催し
 役員の改選を行つたが、新役員
 左の如し。

馴染の藝妓

石城郡内郷村自動車部運輸手
 馬口武重二八は廿七日午後二
 時半頃平町二丁目自動車販賣業
 時半頃方から中古フォード自動
 車一臺を百五十圓で買受け、す
 後二時から開催、平穀物検査所
 つかりうれしくなり馴染の石城
 木名瀬所長の産米に關する講話
 あり由。

藤原川

石城郡玉川村地内藤原川堤防水
 害工事の入札は今三十日午前十
 時から平土木監督所で縣屬立
 會の上施行した。

改修工事入札

石城郡玉川村地内藤原川堤防水
 害工事の入札は今三十日午前十
 時から平土木監督所で縣屬立
 會の上施行した。

一家三名赤痢

平町舊城跡下鐵道官舎第二十五
 號居住高澤壽長女ハツエ(一た
 ので平署に檢束された。

磐城高女校

入學許可者
 平町磐城高等女學校入學許可者
 左の如し。

泥酔して暴行

字鎌田町齋木駒之助(四五)は二
 十九日午後九時頃平町南町料理

- 高木キミ子 佐久間キミ
- 金成静枝 齋藤キン子 樋口
- 君子 加藤サタ 荒木チヨ
- 長谷川シヅ子 吉成清子 鈴
- 木ハツエ 安部榮子 西内キ
- ヌ子 太カカ 飯田かつ 寺
- 島ミツ 長谷川タイ子 唐糸
- ナミ 加藤むつ 高木シメ
- 赤塚チヨ子 小野みつえ 廣
- 田ミヨ 瓜田久子 新妻美恵
- 子 安齋千恵子 吉成幸子
- 金成サク 吉田倫子 澤デク
- 野口しげ 宇佐美美世子 宇
- 南山正子 佐藤勝江 齋藤幸
- 子 岡田澄 鈴木シゲ子 山
- 野邊フミ 葉谷タケ 松浦み
- 大藥明 上遠野ミサオ
- 蛭田トヨ子 木村昭 永山ア
- ヤ子 作山文子 安島シラヤ
- 白土君子 石井久伊 塚本イ
- ク 田口喜久 玉橋房子 面
- 川アラ 鈴木朝子 横内和
- 木村京子 辰野和子 伊東好
- 子 小林久子 新妻美枝 田
- 名綱キミ 鈴木サツ 加藤ミ
- 子 白土智恵子 菊地姫子
- 會田文江 芳賀キヨ子 神谷
- 敬子 鈴木静子 江尻ノブ
- 宮下トキ 中山アサ 猪狩幸
- 子 青木キヨ 松崎恒子 志
- 賀照子 芳賀静 佐川レン
- 松本光子 高岡サツ 矢部ヒ
- 子 佐伯シヅ子 鶴田文子
- 山田智子 大高綾子 石井ヨ
- 子 生田登志子 木田美代
- 小野孝子 只野トシ 長岡キ
- 子 有坂敏子 佐藤美代子
- 小野サト 小高良子 伊藤キ
- ミエ 馬目ヤス子 鈴木タカ

子、長谷川サダ、河野イチ
 石川に子、田崎富美子、高
 萩稔子、志賀幸子、渡邊トキ
 ユ、村岡文枝、澤口かほる
 宗像ハツ、星野千代、志賀吉
 鷲イソ子、菅原カネ、明智芳
 子、市原君江、龍澤岩子、草
 野きよ、田村十女、折笠浦子
 渡邊ミサ、石澤サワ子、作山
 久子、渡邊サタ、鈴木禮子
 四家久子、鈴木ウタ子、江尻
 恵美子、正木キミ、高野喜代
 古田部サタ、小野ユヅ、豊田
 トシ、根本和子、渡邊キミ子
 石島トシ、緒形敬子、田村タ
 キ、渡邊コト、吉野ヒサ子
 鈴木愛子、三瓶タカ、山野邊
 松子、増井マサ、本庄はま子
 高柳美津子、野村智子、大須
 賀キシ、弓野マサ、坂本清子
 志賀美都子、酒井ミチ子、樽
 石ハナ、鈴木光、松本成子
 薄井雅子、片澤藤子、遠藤や
 よし、木田亮子、志賀千代
 齋藤ハル、西山順子、山形朝
 子、鈴木英子、木村良子、國
 井キヨ、遠山セン、小林文子
 蓬来和子、佐藤富士子、柏原
 和子、大塚久江、新妻サタ
 大島幸子、鈴木ナツ、安齋泰
 白土登美、中山カズ子、増子
 カ枝子、海老澤とし、山内夕
 子、橋本サ、橋本操、橋本節
 江尻浩子、國府田リツ子、坂
 本綾子、金成ミヤ、小楡山フ
 ミ、山田中世、安藤イナ、土
 居瑞枝、阿部綾子、鈴木力子
 中野雅子、吉田とし、木村マ
 サ、藤田貞子

梅毒を苦しめて

藝妓風の女自殺

石城郡小川村大字上小川字牛小ので病氣を苦しめて自殺したも
 川地内磐城東線鞍掛墜道内に盛
 伎風の女の醜死體あるを二十九
 日午前九時頃保線工事大内今朝
 蔵が見平署から阿部部長出張
 檢視したが、梅毒の瘡根がある

入學許可者

平町磐城高等女學校入學許可者
 左の如し。

泥酔して暴行

字鎌田町齋木駒之助(四五)は二
 十九日午後九時頃平町南町料理

一家三名赤痢

平町舊城跡下鐵道官舎第二十五
 號居住高澤壽長女ハツエ(一た
 ので平署に檢束された。

磐城高女校

入學許可者
 平町磐城高等女學校入學許可者
 左の如し。

泥酔して暴行

字鎌田町齋木駒之助(四五)は二
 十九日午後九時頃平町南町料理

喘息と、百日咳は
 キット治る三陽液
 三五錢、六五錢

佛國マルソー會社元詰
生葡萄酒
 マルソー・フランク 白 1.10
 マルソー・ルージュ 赤
 良品にして安價賣行飛ぶが如し
西村屋藥局

カクテル
 伊キタヒラデ52
レストラン サロン

最勝院で
手傳中頓死
 石城郡神谷村大字上片寄真言宗
 地尊寺住職和法法嚴(五二)は去
 る二十五日大浦村上仁井田最勝
 院祭禮に守護札書きの手傳中に
 腦溢血で頓死した。
▲女中の自殺 石城郡
 植田町岩間海岸舊鮫川河口に廿
 歳前後の女の溺死体あるを廿六
 日午後一時頃同郡錦村大字中田
 字深坂上林平が發見届出により
 植田署で検死の結果植田町天神
 町植木芳松方女中新潟縣生れ持
 田みち(一八)と判明遺書により
 覺悟の自殺と判つたが原因不明

吉田眼科病院
 平町紺屋町
 電話 六八八番

病室完備
 専門 X光線科
 上田外科醫院
 電話 一二九番

レコード界ニ一大革命
 諸物價が總テ下ガツテ居リマスノニ一ツレ
 コードノミガ下ラナイト云フ御言葉ガ多イ
 様デシタ、處ガ今度値段ガ半値デ然モ電氣
 吹込ミノ上等品ガアラワレマシテレコード
 界ヲアツト言ハセマシタ。
 是非御試聽ヲ願ヒマス。
 音譜ハ種々アリ
 十時盤一枚 七十錢均一
大谷時計病院
 電話 一九九番

通學服
 新學期も近づいて
 参りました。お坊ちゃん
 可愛いお嬢ちゃんを豊
 やん。お嬢ちゃんを豊
 方に通學服を取揃へまし
 取揃へました。
 男兒用
 特製黒小倉 1,700
 紺ヘル 3,600
 紺サージ 3,600
 女兒用
 上紺サージ 3,400
 水兵服 3,400
 防水マント種々取
 揃へて御座ひます
なかや洋服店 電話 203

高級社員招聘
 縣下樞要地の警務所長に任用す
 ◎外務社員數名募集
 成績に依り最初より俸給手當並に交際費を支給し
 無經驗者は見習員として便宜採用す
 入社希望の方は履歷書持参の上にて面談詳細を決定す
 平町字白銀町十番地
國光生命保險相互平出張所
 電話 六百五十番

君はい、型の
 洋服を求めら
 れたね。誰だね？
 いや君コレは四丁
 目マルトモビル停
 車場通で販賣中の
 ソレ正札堂さ
 四丁目マルトモビル
 正札堂

油と味噌
山崎合名會社
 福島縣平町
 電話(營業部専用)一〇番
 (一般用)二七番
 振替東京一九七五五番

練絲養成女工募集
 一、年齢十六才以上十八才以下
 一、養成期間ハ二三ヶ月位
 一、養成期間中ト雖モ相當ノ手當ヲ支給ス
 一、募集人員 貳拾名
 一、應募期間 (自三月十日 至四月三十日迄)
 御希望の御方ハ弊館マデ御來談下サイ
 昭和六年三月
 石城郡大浦村
磐陽館製糸所
 電話(四倉)二二三番

謹啓 父鈴木平吉儀病氣の處療養
 不相叶本日午後一時死去仕り候間
 此段謹告仕候 敬具
 追て葬儀は來る四月一日午後二時平町田町鈴木
 條三郎宅出棺良善寺に於て佛葬相替み申候
 昭和六年三月二十九日
 在東京
 喪主 鈴木 増平
 男 鈴木 雄次郎
 男 鈴木 三郎
 男 鈴木 弘一

亡父仁太郎儀送葬の際に遠路の處
 態々御會葬被成下且つ御鄭重なる
 御玉串料を賜けり奉深謝候
 一々拜趨御禮可申上筈の處乍略儀
 以紙上御挨拶申上候
 三月三十日
 男 谷口長治

母コウ葬儀の際には御多忙中
 御會葬被下且つ御鄭重なる
 御供物を賜けり奉深謝候
 乍略儀以紙上御禮申上候
 三月二十九日
 石城郡湯本町
比佐昌平